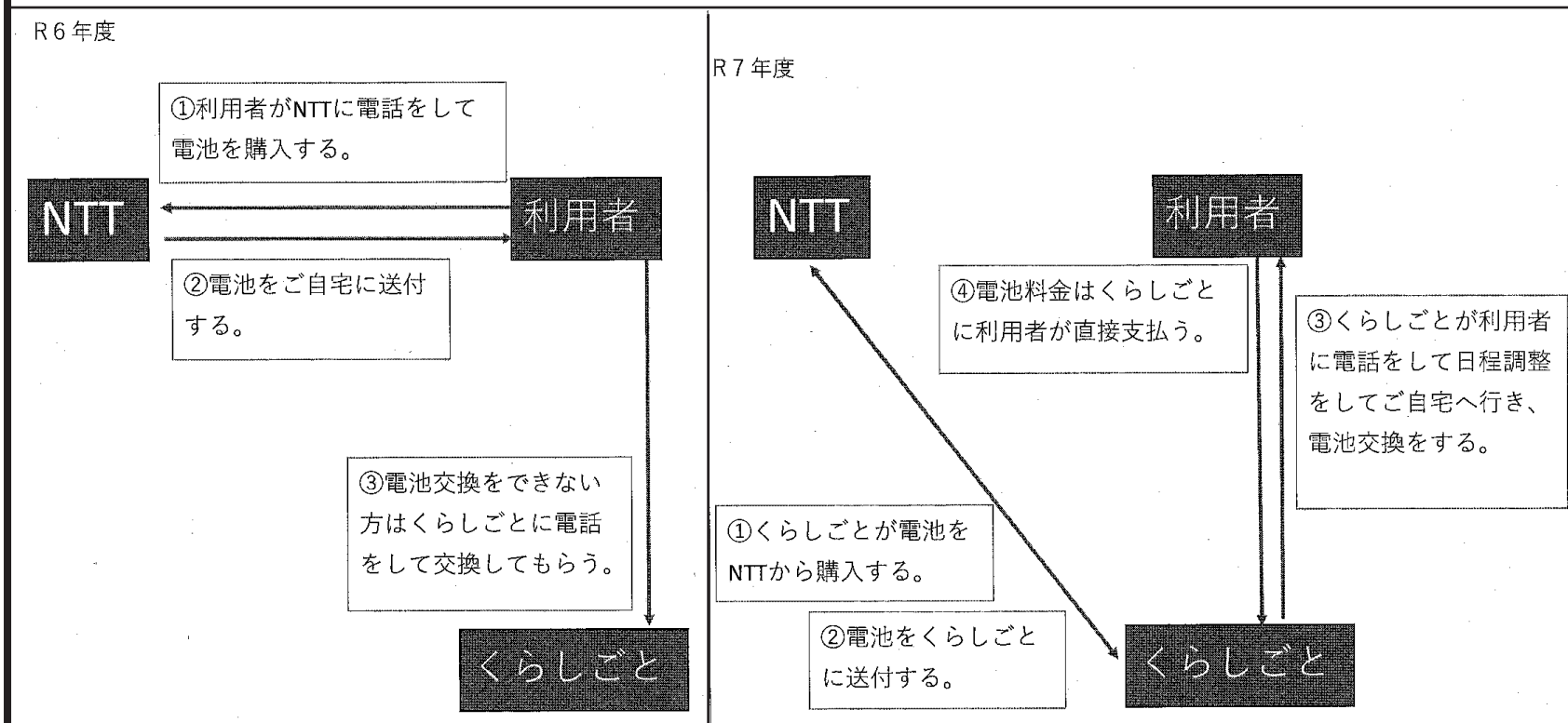
高齢者緊急通報システムの電池交換の負担がなくなる

高齢者の介護や暮らし、住まいのご相談もお気軽にお寄せください

緊急通報システム設置事業の電池交換の流れ



昨年、高齢者に万が一の事が起きた場合、ボタン一つで消防署に通報してくれる「緊急通報システム」の電池交換方法が変わりました。

交換が必要な時期に事業者（くらしごと）が来て交換するやり方から、原則、高齢者が自分で電池を購入して、自分で交換する方式になりました。機械操作に不慣れな高齢者から「できない」という苦情がたくさんでました。

村上議員も議会で「昨年までの方法に戻せ」と質問。NTTと話し合うことになりました。

先日、担当課から上の図のように変えますとの連絡がありました。交換が必要な時期に、くらしごとの職員が利用者宅を訪ねてきて、事業者が交換してくれます。高齢者が電池を購入したり、自分で交換するなどの負担がなくなります。

ひ、そうした時には担当のケアマネジャーに相談してみてください。

入所費用が高すぎます もっと安いところはないでしょうか

高齢者の施設に入所されている方から、「夫の遺族年金で暮らしています が、いまの施設に利用料を払うと1万円ぐらいしか残りません。ここで長く暮らすのは無理みたいです。もっと安いところはないでしょうか」という相談が寄せられました。こうした悩みをお持ちの方もいると思います。ぜ

軽費老人ホーム

釧路市内に軽費老人ホーム・ケアハウスが2か所あります。国の運営補助金が入っていますので割安感があります。年間収入が160万円から170万円のひとり暮らしなら、冬は9万円台、夏は8万円台の月額利用料で入所できます。ただし、空きがない施設もあります。

村上かずしげのショート動画をご覧になれます。

村上かずしげ通信 2025.5.11　発行　共産党市議団